

活動テーマ

地元農産品・観光資源による地域内活性化と都市部との人的交流推進

鳩山町須江・大橋・泉井地区 日本大学

### 1 活動目的

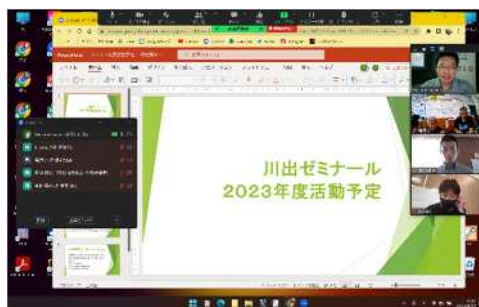
須江・大橋・泉井地域で生産される農産品には地域特性に関する情報が社会で十分に浸透しておらず、その魅力が他地域に知られていない状況となっている。そこで、地元の観光資源などと合わせて、須江地区の魅力の発見を通じて、地区の魅力おこしに取り組む。具体的には、地元の農産品やそれらを組み合わせた名産品を開発し、地元の伝統文化による観光資源を発掘し、交流人口を増加させ、地域への移住定住につながる魅力開発を行うことを数年間に渡る活動の長期目標と考えた。

### 2 活動地域の現状

須江地域で生産されるコメ、麦、大豆、あんずは農協や直売所へ直接卸しているため、地域の特徴が他地域に知られていない状況となっている。また、須恵器など歴史的資産もあり、有機的連携の可能性がある。また、上熊井農産物直売所が本格的に稼働しており、地元の情報拠点となっている。本年度は現地活動が再開されたことから、地域の皆さんとの交流を強化して、上熊井農産物直売所を軸に情報発信することが重要だと考えられる。

### 3 活動内容

現地活動及び現地の皆様との交流及び地域支援活動については、事前ミーティング(5月10日)、キックオフ・ミーティング(6月7日)、須江地区地域一斉草刈り参加(7月9日)、上熊井農産物直売所とのメニュー開発(9月5日)、鳩山町立亀井小学校訪問(10月11日)、草刈りと黒大豆の収穫(11月5日)、「まなびしごとLab」の風間崇志様を迎えての支援隊活動に関する振り返りディスカッション(1月10日)の活動を行った。なお、12月頃に行われる予定であった須江地区における黒大豆の脱穀は日程調整がコナンなんとなり、中止となった。また、1月中旬に行う予定であった上熊井農産物直売所での地元食材を使った特産メニューを提供会して頂く予定であったが日程調整ができず、実施ができなかった。



## 4 成果

ふるさと支援隊の活動も4年目の最終年となり、活動再開時に須江地区の皆様にあたたかく迎えていただいた。現地活動も順調に行うことができ、上熊井農産物直売所でもふるさと支援隊活動に理解をいただき、私達の要望についても協力的に対応いただいた。亀井小学校の先生方も、ご多忙の中、地域支援活動について、ご理解をいただき、児童の皆さんに協力を頂いて、鳩山町の黒大豆について意見交換を深め、地元の黒大豆の美味しさ、子どもたちの皆さんの黒大豆への期待感を知ることができた。特に本年度は須江地区の皆様のご協力で、黒大豆の豆まきから始まり、現地活動時の圃場訪問、更には部分収穫にも参加させていただくことで、黒大豆の育成の困難さを学ぶこともできた。

現地の皆さんとの連携を通じて、上熊井農産物直売所を発信拠点として、地域の様々な取り組みを発信してゆくことが可能だということがわかった。また、新型コロナウイルス感染症によって活動を広げることができなかったが、須恵器やアンズなど、地元の潜在的資源を掘り起こして、相互連携をすることでさらなる地域活性化ができることもわかった。

## 5 課題

活動の課題については、高齢化と地元特産品の生産量の問題、地域内の連携の問題、地域活動の制約についての3つを挙げるができる。

地域内の魅力ある農産品はあるものの、急激に進む高齢化の中で、その生産の維持が難しい現状がある。更には地元で代々育てられてきた黒大豆は魅力的な味があるものの、人手による手間がかかるために量産が困難で、天候次第で生産量も安定しない。そのため、商業ベースでの生産につなげることが困難で、ふるさと支援隊活動でこれを解決することができなかった。

地域内の連携については、一昨年度の須江・大橋地区の活動にとどまらず、泉井地区の亀井小学校との連携や熊井地区の上熊井農産物直売所との連携に向けた活動を通じて環境が整ってきたが、大きなイベントを実施するまでに至ることはできなかった。

地域活動の制約については、4年間の活動の1年目が終了した段階で、新型コロナウイルス感染の拡大でオンライン活動になり、その後も現地活動が成約されるなど活動の断絶によって、再び進行を深め直す必要があるなど、地元への訪問回数が想定より減ってしまい、さらに時間のロスが多く生じたことが活動の活発化の際の課題となっていた。そのような中でも、地元の方々の温かいご支援をいただくことで、地元の方々と親交を深め、十分とは言えなかったかもしれないが、地元に貢献をさせていただくことができた。



## 6 次年度以降の計画

本年度が鳩山町におけるふるさと支援隊活動の最終年であり、来年度の活動自体は現地で行うことが予定されていない。ただ、鳩山町の須江地区、大橋地区、泉井地区の皆様との交流した経験は大きな財産であり、地元で黒大豆を大事に育ててきた歴史など、今回の活動を通じて、地域に根ざして生きるということについて、大きな学びを得た。せっかくの機会に、多くの方々にもご支援いただいた感謝の気持ちを持ち、今後も訪問してゆきたいと考えている。インターネットを通じた社会活動がさらに広がり、本活動においても情報発信を行ってきた。今後は別の地域や形式で活動することがあっても、本活動の情報を活用しながら鳩山町の情報提供を進めてゆきたい。今後も地域活動を続けてゆく中で、鳩山町の「街の幸福度ランキング」全国一位の魅力からの学びを活かしてゆきたい。

